

2024年 1月6日日

開演 13時 (開場 12時)

とりぎん文化会館 梨花ホール (鳥取県立県民文化会館)

〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5



●JR鳥取駅から: 徒歩約20分/バス停「県庁日赤前」下車/ 100円循環パス「とりぎん文化会館」下車 ●駐車場は、とりぎん文化会館、図書館、公文書館の共同駐車場です。 台数に限りがございます。(ハートフル駐車場9台) ●満車の場合は、鳥取県庁の地上・地下駐車場(無料・土日祝8:15~22:00) 県庁北側駐車場(無料・24時間解放)の他近隣の有料駐車場をご利用ください。

〈全席自由〉

チケット 一般前売券

4,000円 5,000円 2,000円

※3歳未満はご入場いただけません

チケット取扱い

●とりぎん文化会館●倉吉未来中心●アルテプラザ

● WEBチケとっとり https://yykl.ka-ruku.com/tottori-bunka-s/showList

WEBチケとっとり

京都観世会事務局(京都観世会館内) TEL. 075-771-6114

https://piagettii.s2.e-get.jp/kyotokanze/pt/

(京都観世会の電話・WEBにて購入の方は、セブンイレブンにて発券のうえご来場ください)

京都観世会館販売サイト



助成:

文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン2)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

お問合せ

【会場・チケットについて】とりぎん文化会館 TEL.0857-21-8700 (9:00~18:00※休館日を除く) 【公演内容について】京都観世会事務局 TEL.075-771-6114 (9:00~17:00※月曜·年末年始休館)

日本全国

令和六年 一月六日(土) 開演 十三時(開場 十二時) とりぎん文化会館 梨花ホール (鳥取県立県民文化会館)

(開演 13時)

喜翁流舞雅子高 砂

松井 彬 政允 シテ/住吉明神 地謡 大島 大村 定 森田 保美 大島 輝久 林 大輝 小敲 松井 俊介 正壽 谷口 大鼓 洋輝 加藤 太鼓

安宅勧進帳瀧流之伝 観世流 能

シテ/武蔵坊弁慶	林 宗一郎	笛	森田	保美
ツレ/同山	松野 浩行	小鼓	林 吉	兵衛
	寺澤 拓海	大鼓	谷口	正壽
	樹下 千慧			
	梅田 嘉宏	後見	大江又	三郎
	宮本 茂樹		杉浦	豊彦
	深野 貴彦		河村	晴久
	河村浩太郎	地謡	井上	裕久
	大江 泰正		浦田	保浩
	河村 晴道		古橋	正邦
子方/義経	林 小梅		越賀	隆之
ワキ/富樫某	江崎欽次朗		分林	道治
アイ/太刀持	茂山忠三郎		大江	信行
アイ/強力	茂山千三郎		吉田	篤史
			河村	和晃

- 休憩15分

大蔵流 狂言 千 鳥

茂山千三郎 シテ/太郎冠者 山本 善之 アド/主人 アド/洒屋

茂山忠三郎 黒川 亮 後見

(15時40頃)

刮和合 宝生流 能

辰巳満次郎 和久荘太郎 シテノ猩々 後見 山内 崇生 辰巳 和磨 シテ/猩々 岡 充 小倉健太郎 ワキ/高風 地器 小倉伸二郎 相原 一彦 宏司 笛 澤田 吉阪 一郎 辰巳 孝弥 小鼓 井林 久登 内藤 飛能 大鼓 井上 敬介 辰巳大二郎 太鼓 川瀬 隆士 田崎 甫

高砂 舞囃子

住吉明神(シテ)が摂津国・住吉の浦に出現 し、千秋万歳を祝って颯爽と舞う。

天下泰平、国土安穏、長寿の願いが込めら れた、能の代表的な演目。〈舞囃子〉は能の 主要部分をシテが袴姿で舞う。



シテ 松井 彬

かんじんちょう たきながしのでん 勧進帳 瀧流之伝

力強い能の代表作で、能では珍しく劇的な起伏と緊張に富んで いる。平家討伐に最も功のあった源義経(子方)も今は兄頼朝か ら追われる身となり、弁慶(シテ)らと偽山伏となり北陸道を行く。

安宅の関にて足止めされたが、弁慶が当意 即妙の勧進帳を読み上げ通過を許される。 しかし強力に扮した義経が疑われ、弁慶は 杖で散々に打ち、主君でない証しを見せる。 弁慶の知略と豪勇で関所を突破していく。 「勧進帳」の読み上げ、ワキへの詰め寄り、 勇壮な〈男舞〉が魅せる大曲。歌舞伎十八 番「勧進帳」のもとになった。



シテ 林 宗一郎

狂言

主人(アド)から、いつもの酒屋で代金なしに 酒を求めてくるよう言いつけられ困った太郎 冠者(シテ)。今日はお代を持ってきたと偽っ て酒樽をもらって帰ろうとするが、酒屋(アド) に取り戻される。そこで話好きの酒屋に楽し い祭の話を始め、浜辺の千鳥の様子を語る 隙に、千鳥に見立てた酒樽をもって逃げよう とするが-



シテ 茂山千三郎

みだれ わごう 乱 和合

昔の中国のお話。揚子の市で酒を売る親孝行の男・高風(ワキ)の もとへ通っては、どれだけ飲んでも顔色一つ変わらぬ不思議な客 (シテ)がいた。名を問うと「海中に住む猩々」と言い、姿を消す。 月の美しい夜、酒を壺にたたえて待つ高風の前に猩々が浮かび出 て、酒を汲み、舞を舞い、高風の孝の心を誉め、汲めども尽きぬ酒

壺を与える。猩々とは想 像上の動物で、不老不 死、百薬の長ある酒の効 用を讃える、祝言性に満 ちた曲である。「乱」とは 能『猩々』の特殊演出で、 通常にはない特別な足 使いを見せる。曲目を略 して「乱」としている。





シテ 辰巳満次郎 シテ 山内 崇生

- ◆主催者が許可した方以外の写真撮影·録音·録画はお断りいたします。
- ◆上演中は、携帯電話など音や光を発する機器の電源はお切りください。
- ◆都合により、出演者、その他が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- ◆公演中止の場合を除き、購入されたチケットの払い戻しはできません。